

# 海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和5年9月15日

## 【観測結果（調査日：9月5、6日）】

9月5日と6日に伊勢湾と三河湾の観測を実施しました。

## 【水平分布（調査点：P3～P17）】

気温の上昇と日射の影響により、伊勢湾と三河湾の海面は高水温に覆われています。クロロフィル a 濃度は陸域からの負荷が大きい湾奥部で最も高くなっており、湾中央部の三重県側で最も低くなっています。

## 【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾では、気温の上昇、日射、および河川水の影響で高水温・低塩分の軽い水塊が表層を覆い、成層が発達して、海水の鉛直混合が妨げられています。その結果、湾中央（P13-15）の底層を中心に酸素供給が極めて少ないため、貧酸素水塊（溶存酸素飽和濃度 30%以下）が分布しています。

クロロフィル a 濃度は湾奥の水深 10m にピークがあり、湾奥から湾口までの全体を通して水深 10m で濃度が高くなっています。



